

未ダ見ザリシ Rhizostomae ノくらげヲ只一匹得タリ、生殖器淡紅色ニシ表皮ニ褐色ノ小點アリかきノ中央高ク凸起シ金米糖ノ如キ小突起アリ、中々美麗ナルモノナリ、屬名ハ體ニハ知レズ Torumidae ニ屬スルモノナリ、稀ニ見ルくらげナリト漁師ハ言ヒタリ。最モ珍ラシク思フハ此處ニテ得タル一匹ノくらげ(Cyanea)ノかきノ下ニ附着シ居タル Actinea ノ如キ動物ナリ、色ハ白クノ大ナルハ長サ二せめ程ナリ、極小キモノヨリアリテ二三十個モ附着シ居タリ、其附着スルニハてんたくアル方ノ端則チ口ニテ吸ヒ附キ居タリ。

ゆうれいくらげハ味野邊ニテしろくらげト云フ、此くらげハ Cyanea ニ屬ス、余ノ知ル所ニテハ Cyanea ニ八種アリ、然シゆうれいくらげハ此八種ノ中何レトモ異ナリタレバ多分新種ナリト思ハル。

序ニ記ス、中國邊ニテハよそぎ(かわいぎ)ヲ釣ルニくらげ(備前くらげ)カよつめくらげ(カ)ヲ以テ餌トナス。

岸上鎌吉

北海道外部寄生蟲採集旅行畧記

●北海道外部寄生蟲採集旅行畧記 余ハ昨年ノ夏ヨリ外部寄生吸蟲ヲ研究シ始メ材料ヲ得ンガ爲メ昨年夏ハ内海ニ該吸蟲ヲ採集シ今年ハ同ジ目的ニテ去ル七月廿六日江戸ヲ發シ北海道ニ向ヒタリ同月廿六日函館ニ着シ其ヨリ陸路ニテ直ニ札幌ニ出發セリ歐洲及ビをーすたらりやよ於テハ淡水ノ蟹及ビさり蟹ノ体ノ表面ニてむのせふあら(Tennocephala)ト稱スル一種ノ面白キ吸蟲ノ寄生スルヲ聞居タレバ同地ニテさり蟹ヲ調査シタリ体ノ表面ニ寄生スルモノアルハアリタレバ多分蛭類ニ屬スルモノニシテてむのせふあらニハ非ザルベシト存ズ然レモ尙ホ委シク吟味シタル後ニ非ザレバ確タルヲ言ヒ難シ札幌ヨリ再ビ函館ニ還リ同港ニテ專ラ魚類ノ外部寄生蟲ヲ採集セント勉メタリ然レモ不幸ニシテ當時ハ土用中ニテ恰モ昆虫ノ期節ナレバ魚類ハ多ク得ルヲ能ハザリキ然レモ同地在留ナル余ノ友人野澤俊次郎君ノ豫テ採集シ置カレタルモノ、中しビノ胸鰭ニ附着セルモノトテ大ナル Tristoma アリ同氏ノ好意ニテ余ニ二三ヲ賦タレタ

明治三十二年九月十五日

ほつすがいの産地 しまがいの産地

リ又同魚ノ鰓ニ附着セル一ノ新屬ナル吸蟲アリタリ是ハ余ノ先年長門國萩ニテ採集シタルモノト同一物ナルガ如シ此外余ノ自ラ採集シタルモノ、中ニハ *Microcotyle* 屬ノ新種三四アリタリ此等ノ造構等委シキヲ他日ノ研究ヲ待テ又報ズルコアルベシ八月廿日函館ヲ去ル

終ニ臨ンデ地方諸君ニ願ヒタキコアリタバ一人ニテ夏休業中二ヶ月間位ニ色々ノ所ヲ巡廻スルコナレバ採集モ從テ實ニ不完全ナリ諸君ノ中若シ魚類ヲ調査セラル機アラバ願クハ寄生吸蟲ヲモ意リ給ハザルコト此等ヲ採集シ數多アルモノハ其幾何カラ送致シ玉ハンコ余ノ伏シテ願フ所ナリ

五島清太郎

●ほつすがいの産地 ほつすがい (*Hyalonema Sieboldii*, Gray)

ハ本邦近海ニ於テノミ知ラレタル海綿ノ一種ナルガ舊來知リ得ラレタル産地ハ相模沖三崎ヨリ七里以外三百五十乃至四百尋ノ深サニシテ暗礁ナキ平坦ナル廣キ沙底ナリ此沙底ニテ營ム處ノ漁業ハ「ダボナハ」又「ソコナハ」ト稱シテ冬期ダボナハ (*Pterothrissus gissu*, Hilg.) たち (*Physiculus Japonicus*, Hilg.) たち (*Scombroprochilodipteroides*, Bleek.) 等ヲ釣ルニ用ユル延繩ナリほつ

第貳卷 四一四

すがいは多く此延繩ノ鈎ニ罹リテ上ボル夫ノ江ノ島介殼店ニテ商フモノハ大抵是レナリ又豊後佐賀關ノ沖ニ於テ管テ釣鈎ニ罹リ上ボリタルコトアリ本年第三回内國勸業博覽會ノ出品中日向油津ヨリ出陳セルアリ該地近傍ノ海ニ於テ獲タルモノナリト云フニ由テ思フニ本邦太平洋沿岸ニハ大抵之ヲ産スルナルベシ然レモ余ガ今日マデニ知リ得タルハ上記ノ三所ナリ

(ま、ま、)

●しまがいの産地 しまがい又ばいかに (*Macroleira Kempferi*)

ハ關節動物 (*Arthropoda*) 中最モ大ナルモノニシテ雙脚ヲ張レバ二丈ニ及ブアリ本邦近海ノ外ハ未タ之ヲ見出サス其産ハ相模洋ヲ多シトス而シテほつすがいと同一ノ處ニ棲息スルガ如シ其棲息ノ模様ヲ案スルニ多ク群集スルモノニアラザレモ去リトテ又極メテ散居スル者ニモアラザルガ如シ彼ノ「ダボ」繩ニハ日々二個ツ、ハ罹リ上ルヲ常トス間ニハ「ビス」ニ附セル二鈎 (むつ鈎鈎) 共ニ其罹レルヲ見ルコトアリ孕卵ハ初夏ノ頃ニアリ都テ該蟹ノ味ハ甚タ佳ナラザルヲ以テ通常膳羞ニ供セズ唯偶々漁民ノ之ヲ食フニ過キズ相州ニテハ土俗往々該蟹ノ甲ニ鼻目ヲ畫キテ之ヲ戸上ニ掲ケ病魔守護ノ符ト爲スモアリ江ノ島ニ詣ル者ハ途中戸々之ヲ見ルベシ

(ま、ま、)